

令和2年度
伊万里市行政評価委員会報告書

令和3年2月
伊万里市行政評価委員会

報 告

伊万里市長 深 浦 弘 信 様

伊万里市の令和元年度分の行政評価に関し、令和2年10月21日、22日の両日に行政評価委員会による第三者評価を実施し、このたび本報告書を取りまとめましたので報告いたします。

令和3年2月19日

伊万里市行政評価委員会

委員長	山下 宗 利
副委員長	黒川 敦 子
委員	乗田 泰
委員	島田 美代子
委員	松本 保
委員	中島 奈津子

一 行政評価の経緯

1 行政評価委員会設置の目的

伊万里市の行政評価について、行政外部の視点から第三者評価を実施することにより、評価の客観性と信頼性を確保するとともに、評価精度の向上を促すことを目的として、当委員会を設置しました。

2 行政評価委員会の役割

当委員会の役割は、評価精度の向上支援であり、①現状の把握や課題が適切に認識されているか、②事務事業等の目的や指標（活動・成果）の設定は適切か、③分析結果を踏まえて論理的な方向性が選択されているか、といった視点に基づいて検証を行いました。

3 行政評価委員会の構成

人数：6人

役 職	氏 名	所 属 団 体 等
委 員 長	山下 宗利	理事（教育・学生担当） 副学長
副委員長	黒川 敦子	公募委員
委 員	乗田 泰	乗田公認会計士事務所
委 員	島田 美代子	公募委員
委 員	松本 保	公募委員
委 員	中島 奈津子	公募委員

4 第三者評価の方法

当委員会においては、伊万里市が作成した評価表に沿って、評価担当者（評価表作成者）による説明を受けた後、記載事項に対する指摘や助言を行うとともに、チェックシートによる評価を行いました。

5 評価対象の選定

当委員会で評価の対象とする事務事業の選定にあたっては、主に過去の第三者評価の対象となっていないもの、市民により身近な事務事業の中から13の事業を選定し、評価を行いました。

6 行政評価委員会の経過

	10月21日(水)	10月22日(木)
9:00-9:30	委嘱状交付、委員長決定、 評価方法の説明	子育てファミリーサポートセ ンター運営事業
9:30-10:00	市美術展開催事業	食生活改善普及事業
10:00-10:30	放課後子ども教室開催事業	コミュニティバス等運行事業
10:30-11:00	稚魚・貝類放流促進事業	食を活かしたまちづくり推進 事業
11:00-11:30	一般住宅耐震改修等促進事業	外国人等児童生徒教育支援事 業
11:30-12:00	事務連絡、解散	防災活動事業
12:00-13:00		昼休み
13:00-13:30		資源ごみ回収促進事業
13:30-14:00		伊万里の“いい職”説明会開催 事業
14:00-14:30		移住・定住促進事業
14:30-		事務連絡、解散

二 第三者評価の総括

これまで8回にわたって伊万里市の行政評価を対象に第三者評価を実施してきました。この評価の目的は前述のとおりですが、その背景にはとても重要な意味が込められています。それは、市民に対する説明責任（アカウンタビリティ）の徹底であり、また効率的で質の高い行政の実現及び市民の視点に立った成果重視の行政への転換という三つの重要な付託であると考えます。

今回の第三者評価の結果を見る限り、評価委員によって評価内容に違いはありますが、特に評価表の記載事項について、これまで複数回にわたって行ってきた成果が十分に活かされているとは言えない記載事項が確認できました。とりわけ最もいねいになされるべきである市民への説明に関しては、市役所内での慣例に従った文体・用語が多用されており、「表現がわかりにくい」という項目が約3割にもものぼっていました。市民に対する行政の説明責任を徹底することは、市の行政活動全般に対する信頼度が増し、市民と行政との結びつきが一層強化されることにつながると思われます。

また、何を行ったかではなく、どのような成果が市民にもたらされたかが問われており、事業の成果を数値で端的に示す指標の果たす役割は大きいと考えますが、活動指標と成果指標の設定についても市民の理解が容易に得られるような内容になっていないものが見受けられます。市の行政活動が的確な活動指標と成果指標を用いて表現されることにより、職員自身がより効率的な活動をしなければいけないという意識が自ずと醸成されると思われます。

以上のようなことから、市民の事業に対する満足度の向上を図るため、今後とも行政評価表をさらにわかりやすいものとし、これらを市民に「いねい」に説明する努力をお願いします。

1 第三者評価結果の実施結果

(1) 伊万里市行政評価委員会による第三者評価結果

10月21日(水)

【市美術展開催事業】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	△	○	○	△	部門を増やすなどの方策で事業成果はさらに向上する余地はあると考える。 評価理由で「若干の増加」という表現は後ろ向きな表現だと思う。
黒川委員	○	○	○	○	開催会場の検討をし、広く市民に知ってもらう工夫、高齢化が進む中、待つのではなく出向く姿勢。
乗田委員	△	×	×	×	事業の趣旨から考えると、出品者数・観覧者数の拡大を目指すものと思えますが、その点からの視点が弱いと思います。
島田委員	△	○	○	△	市美術展開催に必要な備品買い替え費用をR3年度は現行予算に加え費用要求するとありますが、R3年度だけで備品そろうのか。
松本委員	△	○	○	△	出展部門の門戸を広げる。事業としての収支を考える。 ①出展者から出品料等をもらう②宣伝パンフレットに広告を募集する。(有料)
中島委員	△	○	○	△	松本委員が提案されたような資金を集めるという意見は検討されてもよいと思います。

【放課後子ども教室開催事業】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	×	×	×	×	開設が7地区に限定されているのが気になる。コミュニティスクールの制度を活用して新しい取り組みへと変更することも可能か。 成果指標は希望者のうち参加者の割合にする。
黒川委員	○	×	×	△	事業への参加者数を増やす工夫をしていただきたい。 親子での参加事業はあるのか？事業内容の見直し。
乗田委員	△	×	×	△	保護者の意向の反映はどうなっているのか。 向上余地の有無を判断するものになっていない。
島田委員	△	×	×	△	留守家庭児童クラブと放課後子ども教室と事業内容の見直し検討が必要。
松本委員	○	○	×	△	コミュニティスクール制度との競合。目的が重複する部分があるので、コミュニティスクール制度と合わせて抜本的に見直しを検討する必要がある。
中島委員	△	×	×	△	児童クラブとの連携など、もう少しやり方を変えていく必要が出てくるのではないかと思います。

【 稚魚・貝類放流促進事業 】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	×	○	×	△	本事業の成果が、漁業活動及び海洋保全全般にどのような効果があるかを記入してほしい。
黒川委員	△	○	○	○	
乗田委員	×	×	×	△	底質浄化と漁業従事者の所得向上の目的に対する指標としては、適切でないと思われる。
島田委員	○	○	○	○	漁協組合員の高齢化、組合員の減少で、今後放流事業維持ができるのか？
松本委員	○	○	○	○	本事業は止めてよいと思われる。 ①目的達成②海底浄化の方法は他にもある。プラスチックごみの放出をやめたほうが、一定の浄化に効果的。
中島委員	△	○	○	×	今後の流れをよく考えていく必要があると思います。

【 一般住宅耐震改修等促進事業 】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	△	○	×	△	国の事業なので取り組んでいるが、拡大よりは新しい方向性を探った方がよいのではないか。
黒川委員	○	×	×	△	どこもそうですが、概要欄に何年からの事業が記載されてはどうか？
乗田委員	△	×	×	△	耐震化の希望者数、要改修の住宅数の把握がなされていない。
島田委員	△	○	×	△	伊万里市は地震が少ないので、危機感は低いと思いますが、安全性を考えたら耐震診断の補助金活用を市民に周知徹底することが必要。
松本委員	×	○	○	△	耐震診断のシステムを市民がどれだけ知っているかを把握 ⇒要改修対象家屋へ簡易診断をすすめる⇒危険な家屋は精密診断をすすめる⇒結果によって改修をすすめる。
中島委員	△	×	×	△	

10月22日（木）

【子育てファミリーサポートセンター運営事業】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	△	×	○	△	活動指標を「提供会員」ではなく「依頼会員」にする。これによってこのサービスが求められているか、どの程度の充足度かがわかる。広報の評価も今後どのようにしたいのか、できている点とできていない点も記入してもらいたい。
黒川委員	△	×	○	△	アンケートについては、利用者と提供者への簡易な内容で取られると良いのではないのでしょうか？
乗田委員	×	×	×	×	指標のとらえ方が適切でないと思う。事業の方向をどのようになりたいのかが表記されていない。どこをどのように展開したいのかが分からない。
島田委員	×	×	×	△	事業の周知により利用件数が増える可能性があるとしてありますが、そうなった場合例年通りの予算要求では運営が難しいのでは？
松本委員	△	○	×	△	課長の説明は具体的でよく理解できた。自己評価がマンネリ化している。（通り一遍のような表現となっている）
中島委員	△	○	×	△	利用方法などを詳しく広報していただくと分かりやすくて利用しやすくなるかなと思います。サポーターの顔が見えると良いなと思ったことがありました。

【食生活改善普及事業】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	△	○	×	△	伊万里市民の健康づくりにどのように役立っているか不明である。「生活習慣病が改善した」というデータは存在しないか？成果指標にできないか？具体的にどのような事業なのかがわかりにくい。成果が上がった点とできなかった点、それらをふまえ今後どのように展開するかを記述してもらいたい。
黒川委員	×	○	×	△	補助金を出すだけでなく実際各地区へ出向かれてはどうか？予算の方向性の欄の記載方法の工夫をされてはどうか？
乗田委員	×	×	×	×	指標が推進員数になっている。成果指標としては違うと思われる。推進員の活動の結果、市民の生活習慣病患者数の減少等施策にどう関わっているのかが不明。
島田委員	△	×	○	△	食生活と運動は重要な問題だから食生活改善推進員数の増員のためにも養成講座の継続が必要。
松本委員	△	×	×	△	予算・コストの一次評価で「これ以上の方法で成果をあげることは難しい」と記載されているが、不適切な表記です。創意工夫により成果を上げる努力が必要。
中島委員	×	○	×	×	

【コミュニティバス等運行事業】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	×	×	○	×	利用者数は減少傾向にあるが、ニーズも減少しているのか不明。今後少子高齢化が進行するが、それに合わせて事業の成果も大きくなると思われる。課題を踏まえた上で、今後どうしていきたいか記入してもらいたい。 活動指標が2本だけだが、なぜすべてできないのか？
黒川委員	△	○	○	△	方向性の欄の記載方法を工夫されてはどうか？ バス内の装飾は職員のアイデアで作成をされても良いのでは？(無償ボランティアで・・・)
乗田委員	△	○	×	△	評価の基準が過去の実績に基づいており、今後どの様にしたのかの記載になっていないのではないかと。アンケート等利用者の意向が集計されているのに、その結果が評価表に表れていない。
島田委員	△	×	○	△	高齢者や交通弱者には、公共交通は唯一の移動手段だから維持していく必要があります。
松本委員	×	×	○	△	定時運行方式のいまりんバスを廃止して(費用対効果の観点より)デマンドタクシー方式を拡大したほうがベター。
中島委員	△	○	○	△	理由の内容をもう少し詳しく書いていただけると、その背景が分かりやすくなるかなと思います。

【食を活かしたまちづくり推進事業】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	×	○	×	×	成果指標の達成が本事業の目的に合致しているかどうか疑問である。複数の団体が連携事業を提案した数や開催数を成果に入れた方がよい。
黒川委員	×	○	○	△	記載内容について再度確認していただきたい。
乗田委員	×	○	×	×	委員会の活動内容と評価が結びついていない。何をしたいのかが分かる記載が望まれる。
島田委員	×	×	×	△	食のまちづくり推進委員会、推進会議の内容がよくわからないので検討してほしい。
松本委員	×	×	×	△	間口が広すぎて的がしぼれていない。
中島委員	×	×	×	×	枠組みを見直されてはどうかかなと思います。

【 外国人等児童生徒教育支援事業 】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	△	×	×	△	成果指標を活動指標にしてはどうか。研究会参加者数ではなく、外国人等の児童生徒の学習に役立つ指標(教材の作成数)が考えられないか。
黒川委員	△	○	×	△	成果の部分を詳細に記載していただきたい。
乗田委員	×	×	×	×	方向性が見えないのではないかと。補助事業のため活動が制限されている面もあると思われるが工夫が欲しい。
島田委員	△	○	○	△	実践的研究会、研修会について伊万里市だけでなく他市の教職員とも共有をしてはどうか。伊万里市の取組がよくわからなかった。
松本委員	△	×	×	△	伊万里市在住の外国人子女は少ないと考えるので、先進地で事例が多い、東京・名古屋地区の事例、問題、課題を導入し、事業の効率化を図られたい。
中島委員	△	○	○	△	

【 防災活動事業 】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	△	○	×	△	説明文を詳しく記述してください。行政区がすべて防災訓練をした(100%)という形にした方がよい。市民目線での記述をお願いします。
黒川委員	×	○	×	△	全体的に口頭で説明されたような内容を肉付をしていただきたい。
乗田委員	×	○	×	△	記載が簡略化されており、分かりづらい。成果指標と評価理由がリンクしていない。
島田委員	○	○	○	△	区長から報告された災害危険箇所について、把握、対応できていない所もあります。地域防災訓練の実施が必要。
松本委員	×	×	○	△	「防災活動事業」とひとくくりでは、間口が広すぎるため、事業内の対象をしぼって事業評価を行ったほうがベター。
中島委員	△	○	×	△	

【 資源ごみ回収促進事業 】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	×	○	○	△	市民が読んでわかる内容に徹してください。
黒川委員	△	×	○	△	文章の肉付をお願いしたい。
乗田委員	△	×	×	×	90%以上の事業の定着している状況を維持しており、行政が実施する段階は過ぎていると思われる。
島田委員	×	○	○	△	9割以上の地域で、リサイクルサンデーの実施が定着しているのなら、市民の意識継続のため必要。
松本委員	△	×	○	△	資源ごみ回収については、市環境課の努力により定着しています。回収業者、区長と協力して業者でやれることは業者をお願いすることで、コスト低減に努めていただきたい。
中島委員	△	○	○	△	今後の在り方は検討された方が良いかと思えます。

【 伊万里の“いい職”説明会開催事業 】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	△	○	×	△	成果指標は、伊万里地区の企業に興味を抱いた高校生や大学生等の割合(全参加者に対する)がいいのではないかと。オンラインを用いた新たな試みが記述されていて評価できる。
黒川委員	△	×	×	△	評価の理由欄で最低限のコスト説明(チラシ、会場使用料)を記載していただきたい。
乗田委員	△	○	○	△	会社説明会の開催だけであれば、行政が行う必要は全くないと考える。商工業の振興が施策目的であれば、就職率の向上を目指す指標を考えるのが妥当ではないかと思えます。
島田委員	○	○	○	○	新型コロナウイルスの収束がわからない中、引き続きオンライン等で説明会を開催するための予算要求をしてほしい。
松本委員	○	○	○	○	地元企業の発展のために高校生・大学生(特に地元出身者)への就職の支援を強力に進めていただくことを切望します。特に企業の紹介は、先輩(地元出身者)に参画してもらいと効果的だと思います。
中島委員	△	○	○	△	今後はオンラインを上手く活用して様々な形で説明会をしていくと良いと思います。今まで出来なかったことが自由に出てくるようになると思いますのでアイデア次第だと思います。

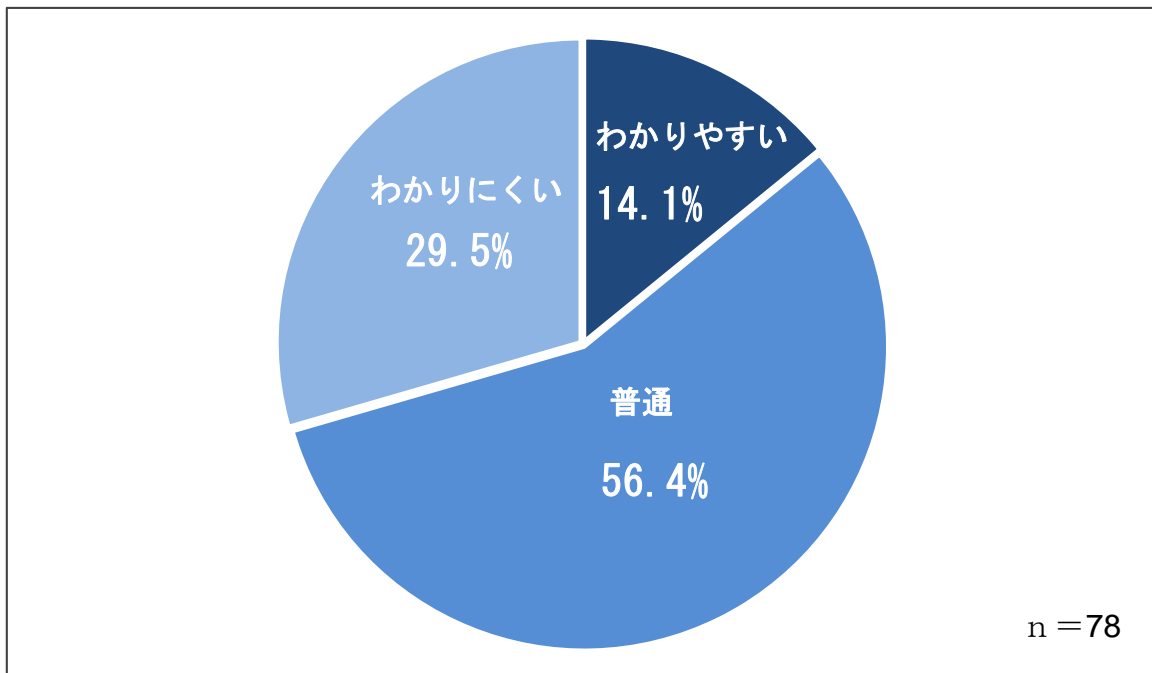
【 移住・定住促進事業 】

設問	わかりやすい表現で書かれているか	活動指標の設定は適切か	成果指標の設定は適切か	評価表の総合的な内容はどうか	自由記入欄
選択肢	○:わかりやすい △:普通 ×:わかりにくい	○:適切 ×:不適切	○:適切 ×:不適切	○:よい △:普通 ×:悪い	
山下委員	△	○	○	△	現状の把握によって、成果が見える点と困難な点を明確に記述してください。 市民が読むことを念頭に置いて記述してください。
黒川委員	△	○	○	△	全体的に文章の見直しをしていただきたい。
乗田委員	△	○	○	△	移住・定住の指標の妥当性は評価できませんが、月1世帯の移住・定住を目指すとの説明であり、理解をしました。 年齢層、求人数とのバランスで妥当性が決まると思われるが、他行政との競争もコストアップの原因になっていると思われる。 補助金だけでなく他の有利性のアピールも必要ではないでしょうか。
島田委員	○	○	○	○	人口減少は今後も続くと思われるので、移住・定住政策の維持が必要です。新型コロナウイルスの今だからこそ伊万里市に定住してほしい。
松本委員	○	○	○	○	
中島委員	△	○	○	△	

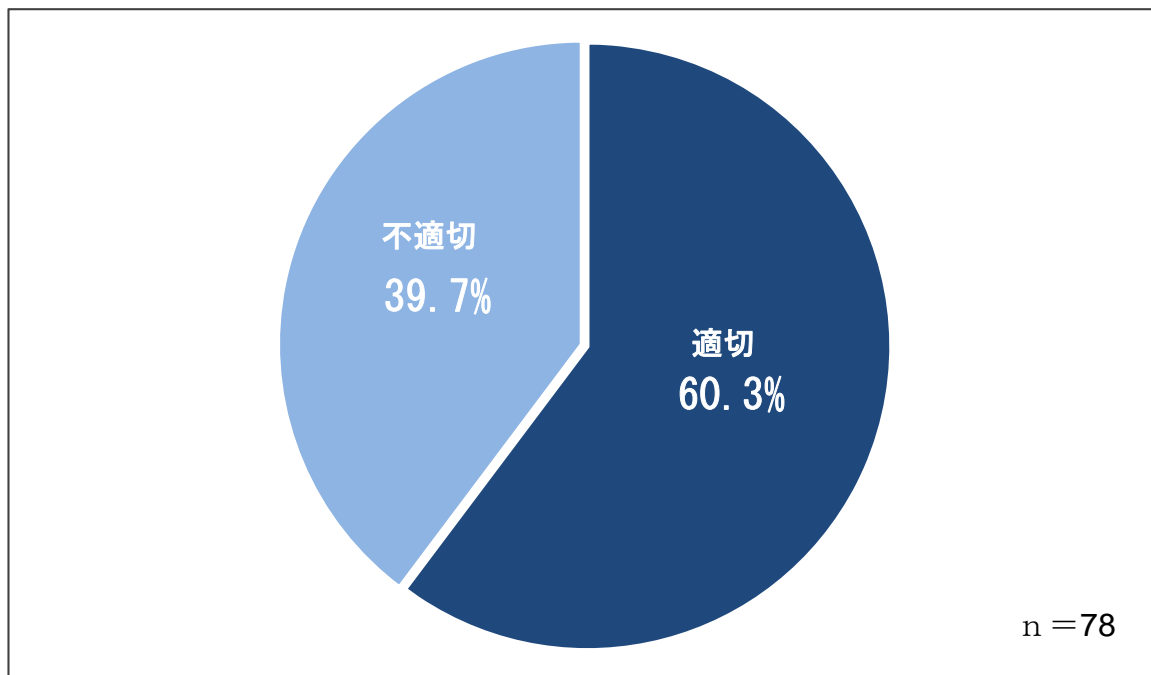
(2) 評価委員による評価表の集計結果

- ・ 比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出をしていますので、比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 基礎となる実数はnとして掲載しており、各比率はnを母数として算出しています。

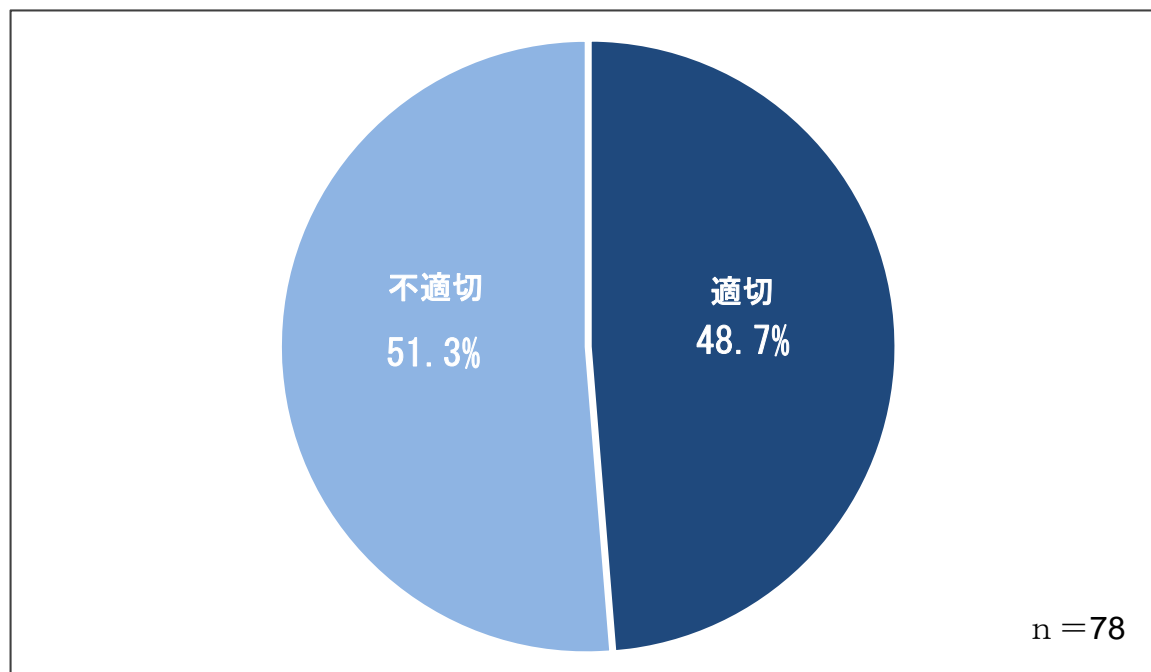
【わかりやすい表現で書かれているか】



【活動指標の設定は適切か】



【成果指標の設定は適切か】



【評価表の総合的な内容かどうか】

